

車椅子の息子に

ありがとう



私の息子は今年十九才になります。二分脊椎症という病気で生まれてきたので0才の時に手術を受けてから今まで車いすの生活です。

その息子が最近自立して寄宿舎のある施設に自分から望んで入所しました。

入所に際しては、自分で洗腸等をせねばならず、自立の課題があったのですが息子はそれら乗り越え活き活きと入所してゆきました。

振り返るとこの十九年間、私には日々の介助と生活におわれて葛藤したり悩んだりさえする余裕がありませんでした。今、息子が私の手をはなれてふと思うのは、私は母として人間として息子のおかげで成長させてもらったなという事です。

息子を通じて知り合っただすばらしい方々との出会い。そしてなにより息子を通じて親戚がまとまりやさしい気持ちに満ちあふれているということ。私はあなたの母であることに感謝しています。

そしてなにより、私が介助に忙しくしている中で自分のことを自分でやって育ってくれた娘・・・寂しい思いもあつたでしょう。

ごめんね本当に感謝しています。二人とも私に生まれてくれてありがとう。あなた達は私の宝物です。

(千葉県袖ヶ浦市/YOKO R)

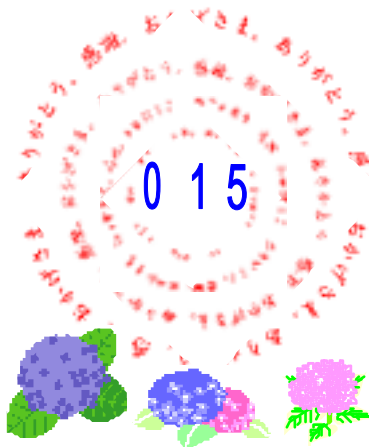
二分脊椎は、生まれつき脊椎の癒合が完全に行われず一部開いたままの状態にあることをいいます。そのなかには、脳からの命令を伝える神経の束(脊髄)が、形成不全を起こし様々な神経の障害を生じる病気もあります。主に腰椎、脊椎に発生しますが、その部位から下の運動機能と知覚が麻痺したり、合併

症として脳に異常を生じたり、さらに膀胱や直腸の機能にも大きく影響を及ぼすことがあります。従って、二分脊椎症の治療には脳神経外科、小児科、小児外科、泌尿器科、整形外科、リハビリテーション科などを中心に共同チーム医療が必要とされます。さらには適切な医療の他に教育、就職、結婚等の問題まで総合的なケアが必要な病気です。

幸せな気持ちを

ありがとう

5月のゴールデンウィークに高校の同級生が結婚しました。私は結婚式に招待され、式から一次会、二次会、三次会とフルコースで皆から祝福される友達を見て、人間の幸せの中でも結婚は最大のものの一つだ



と思いをしました。

この同級生とは中学・高校とずっとサッカー部でともに汗を流した仲間であり、高校卒業後も年に一度は皆で集まってサッカーをする仲でした。

また、同級生と結婚相手とは大学時代からの付き合いで、私も会うたびに彼女の話をお聞きしていました。

そのような心から彼らの幸せを願ひ、私自身心から彼らの幸せを願い、祝福をしました。

そして、結婚式を終えて気づいたことがありました。

まず、自分自身が、自分でも驚くほどに彼らに幸せになってほしいと願っ

ていたこと。

次に、一緒に式に出席した友達も皆、私と同様の気持ちであるのが見て取れたこと。

そして、私たちがからの祝福に対し、結婚した二人は本当にうれしそうであったし、私たちがにありがとうと言ってくれたことで

私は、その場に出席しているすべての人が結婚する二人の幸せを願っている空間に参加できたこと、

そして、私たちの祝福を受けて結婚した二人が一層幸せそうな笑顔を見せたことでもとても幸せな気分になりました。

結婚した同級生へ、私たちがからのおめでとうの言葉に、何度もありがとうと笑顔で返してくれただけで、

幸せな二人の笑顔を見ることで、二人から幸せのおすそ分けをしてもらった私はとても幸せな気持ちになれました。

こんな幸せな気持ちを分けてもらい本当にありがとう。

私も、幸せをおすそ分けできるように真剣に頑張ってみようと思います。

(株)ホロニクス総研 木戸晶裕

娘にそして昔勤めていた

会社にありがとう

私は七十代の女性です。長男と同居しています。主人は自営で物品販売の仕事をしていますが、この金融不況のあおりで事業不振が続き、借金がかさんでしまい、返済が不可能になってしまいました。

先日、知人から司法書士の先生を紹介してもらい債務の整理していただきました。同居している息子は現在失業中なので迷惑をかけまいと内緒で返済の為に娘からお金を借りたのです。

かし娘はそのことを知って激怒してしまいました。

「お父さんお母さん！ いったい何考えてるの！ 家を出た私からお金を借りてお兄さんが知らないうちでいつかは筋が通らんじゃない？ お兄さんはいつも家の問題に無関心でなんで私ばかりが係わらなくてはならないの？ お兄さんから返してもらってよ。お父さんが原因なんだから家を売ってでも返してね。」

不動産屋を手配して売却の為の価格を調べたり、一步も譲りません。とうとう長男の耳にも私の借金の話が入ってしまった。

主人の借金が原因で兄弟喧嘩が勃発してしまつた。本当に罪を作ってしまったと主人も私もとても後悔してしまつた。主人や私にそのお金が用意出来るわけでもなくただただおどおどするばかり・・・

そのときふと目についた机におかれた社会保険庁からの手紙・・・。その手紙には主人に一括で年金が支払われるとありました。

思い起こしてみると主人と私が新婚で事業を始める前の若い頃、ある照明機器会社につとめていたことがあったのです。私たちはそのことなどすっかり忘れていました。この年金で娘に借りたお金が返せそうだと。

計算してみましたけどどうしても数万円が足りません。すると傍目にみていた息子が「僕にお金を用意させてくれ。」というではありませんか。失業中の息子がです。無関心に思っていた息子の一面を見て娘も納得したようでした。

我が家の危機は回避できました。思えば娘の強引な発言で息子も気づく事が出来たのです。そして何より年金に感謝です。娘にそして昔つとめていた会社にありがとう。

(目黒区 八雲/KOBYASHI)



揚げたてのメンチカツに
ありがとう

先日当社のお客様の案件を売却させて頂いていただきました。当社とお客様のおつきあいは二年になります。

ご主人亡き後、細腕で商売を切り盛りしてきた自己所有のビルの売却を当社に依頼していただきました。売却の理由は昔借り入れた借金の返済が無理なので売却して一括で返済するというものです。

そのときは景気も好調で時価で売却すれば借金を精算しても再起するのに十分な金額が残る予定でした。

ところが一昨年の年末からの金融機、不況です。不動産価格は暴落して...



先代からうけついでその駅前不動産を安値で手放すわけにも行かず、安い金額で買い希望者は来るものの判断がつかず、判断が遅れて後手にまわってしまったいました。時間ばかりが経過してとうとう債権者から競売の申し立てをされてしまいました。

幾度となく任意売却で契約まででき着けるものの、不動産不況のなか話が消えたり、資金の調達が出来なかつたりと売買がすすきりと成立しません。そうこうしているうちに裁判所の競売の日程も決まりなんとなく敗戦ムードが漂ってきました。

そんな中でもその方は気丈に一生懸命

命営業を続けられました。

「商売に集中していないと気が滅入ってしまうの。今週末にお墓参りに行って亡くなった主人にお願ひしてくるね。」そのお客様は揚げたてのカツをひたいに汗をにじませながら切り分けキャベツの乗ったお皿に盛りつけます。

その姿を私は見ているうちに「よしあきらめないぞ。もう一回営業をしてみよう!」と触発されて再度絨毯爆撃で営業を開始しました。

しかし努力の甲斐もなく、とうとう入札の締め切りの前日を迎えてしまいました。

ところがその日、店の外を伺うと建物を見て回っている方達がいます。お声をかけてみると中国人のご夫婦の方と日本人の不動産業者の方だそうです。なんでもこの物件を競売で入札する予定だそうですが、確実に入手したいので任意での売買の相談にのつてもらえないか?という事でした。

なんてついでに聞いておきました。前日に助け船がくるなんて。交渉はとんとん拍子ですすみ進み翌日に裁判所で契約を行う事となりました。

裁判所一階の売店のラウンジに債権者・弁護士・売り主・買い主・仲介業者が集い、売買契約を締結しお金のやりとりをしました。

通りすがりの方々はもの珍しそうに我々のやりとりを眺めてゆきます。

そしてその足で弁護士の先生と債権者が2階の競売係に取り下げ書類を提出して契約完了となりました。危機一髪の取引でした。

お客様は翌日から商売を辞められて片付けをはじめられました。書類をお渡しに伺うと、「今までありがとう。あなたに食べてもらいたいとおもって

最後の油でメンチを揚げたから食べてください。」あげたてのメンチカツを頂戴し、家に帰ってみんなで美味しくいただきました。私はお役にたてた事がとてもうれしく思えました。メンチカツをありがとうございました。(株)ありがとう・不動産 豊田泰幸)

これから入院する父に
ありがとう

私の父は今年八十四才になります。最近腰がひどく痛み体調が悪いようので日赤病院に検査をかねて入院することになりました。私にとっての父は仕事に追われて忙しく、まじめで厳格で怖かったイメージがあります。イメージに反して父は私が三十才をすぎた子供だっただけにとてもかわいがってくれました。



仕事で遅くなった父が寝ている少年の私の枕元にそーっとおいてくれたパラソルチョコ...。その思い出は宝物です。今まで反省もしたけどいつも見守ってくれてありがとう。

私が横道にそれずに生きているのは父のおかげです。私が五十才になる今まで独身で居ることが父に心配をかけているのだと感じています。

友人達もそのことを心配してくれているので私は前向きに考えて生きてみようとおもいます。お父さん僕を健康に生んでくださってありがとう。まだ育ててくださってありがとう。まだまだ元気です。 (渋谷区 恵比寿 / 和田順)

【携帯 DeShoット】
種を蒔き成長を楽しみに
していた家庭菜園の花が咲くまで
ギクの花がいつか咲くまで
した。いっしょに料理しよう
と春の鍋料理をしよう
と綺麗に飾りました。



携帯電話の方はQRコードから
パソコンの方は下記のURLから
http://1039.seesaa.net/
メールでのご投稿は...
info@holonics.gr.jp



【編集・企画】株式会社ホロニクス総研・編集部

【原稿をお待ちしています。】

本誌は北海道から
沖縄までの友人知人
から寄せていただいた
「ありがとう」の
ことばに因んだ思い
出を、作文、詩、俳
句、短歌、写真、絵
画などを掲載します。
作品は編集部まで
お送りください。投
稿いただいた方には、
ささやかではございますが、オリジナル
「ありがとうメカネ拭き」をプレゼント
させていただきます。
皆様からのご投稿をお待ちして
おります。



また、「自分のお名前や事業所名を
刷り込んで、身近な方やお客様へ配布
されるはいいか、ぜひご意見やご提
案がございましたら是非
お聞かせください。

